

U-2025-

基礎能力

試験問題

注意事項

1. 問題は **30 題(34 ページ)**で、解答時間は **1 時間 50 分**です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはありませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

人間という生物種は、身体的、精神的な特性及び能力は進化の結果に縛られています。そのため、進化によって適応してきた自然環境においては、致命的な大間違いをすることはほとんどないものの、利便性の追求のため作り出した人工環境や、その中で新たに課されることになった知覚認知課題においては、大間違いをする可能性があるのです。

また、自らの知覚や認知の特性を利用してさまざまな情報伝達を行う中でも、非適応的な行動を実行することがあります。人間という生物種は、環境や行動様式を自ら改変することで、進化の結果として得られた我々自身の制約から常にはみ出そうとする珍しい生物種と言えます。

ここで特筆すべきは、人工的環境や、その中で新たに課されることになった知覚認知課題において、間違いを犯すことは少ないかほとんどないことを前提に、さまざまなシステムが構築されているということです。

実際には、この本でも紹介するように、新しい人工環境や、これまで進化の過程で十分に適応してこなかった課題の解決においては、頻繁に間違いを犯しています。にもかかわらず、知覚認知過程に関しては、人間の能力の過大評価もあるのか、ますます高い精度が求められているようです。

しかも、そうした認知課題の中には、これまで、我々の進化の過程で経験してきた環境にはないさまざまな特性があることが指摘されています。それに対して、我々が進化の過程で獲得した判断の方略を適用すると、非合理的な判断に落ち着くことが多々あるようです。

人間は自分たちを「霊長類」と呼び、進化の過程で他の生物種より優位な存在であることを誇示しているかのようです。しかし、これまで説明してきたように、人間の知覚系は多くの「間違い」を引き起こすことが知られ、他の生物種と比べて、見誤りを生じる可能性は決して低くはありません。さらには、視覚の空間解像度や時間解像度、色彩の弁別能力に関しては、進化の過程でずっと昼行性であった鳥類と比べると、かなり見劣りしそうです。

人間が他の生物種と大きく異なるのは、言語を駆使してコミュニケーションする点です。言語を使った会話において他者とコミュニケーションをとり、自ら体験しなかったような事柄について情報を得て学ぶことができます。そうした事柄を文字で記録することにより、何世代にもわたる体験の成果を知識として伝達することも、知識を更新することもできます。こうした能力は、他の生物種にはない、人間に固有の特性と認めることができるでしょう。

実際、いま読者が読んでいるこの本の内容も、数世代にわたる人間の知覚や認知の特性についての経験的探求の蓄積にもとづくものです。こうして文字として記録された情報を、自らの知識として取り込むという、読者自身がいま体験している情報伝達の様式は、まさに人間という生物種固有の能力なのです。

1. 人間は、進化の結果である特性や能力に縛られるあまり、進化の過程で十分に適応してきた課題の解決や自然環境においても頻繁に大きな間違いを犯す。
2. 人間は、環境や行動様式を自ら改変する生物種であり、新しい人工環境にも即座に適応できるため、間違いを犯すことはないという前提であらゆるシステムが構築されている。
3. 人間は、進化の過程で獲得した判断方略の活用に加え、会話による他者とのコミュニケーションによって、新たな認知課題に対しても合理的かつ適応的な判断を下すことができる。
4. 「霊長類」である人間は、高い精度の知覚認知能力を進化の過程で獲得してきた結果、かつては鳥類よりも見劣りしていた色彩の弁別能力も、現在は遜色ない程度にまで向上した。
5. 人間という生物種は、言語を通じた情報伝達の様式という固有の能力を有している一方で、知覚認知過程において多くの間違いを引き起こし得ることが知られている。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

外国語を学ぶというのは、ふつうの人間にとって、それほど必要なことではない。外国語なんか知らなくてもりっぱな人間になることはできる。

外国模倣を国是とした近代日本は、そうは考えなかった。国語以上に外国語をありがたがった。そのころ、つまり明治時代、帝国大学の文科大学で、国文学専攻は一講座であるのに、英米文学科は一講座、別に、独乙文学科、仏蘭西文学科が一講座ずつ、しめて三講座、そのほか中国語の漢文学科もあった。

旧制の高等学校は、外国語学校と言ってよかった。第一外国語に週十時間以上をついやし、第二外国語にも、それに近い時間をあてた。国文学の授業もあったが、おしるし程度、日本語の授業をしたところはなかったはずである。

学生はそれをおかしいとは思わなかった。そして、外国語の学習によって、近代的知性を高めたと満足していたらしい。

だいいち、外国語がおもしろいのである。よくはわからないが、それがおもしろい。日本の古典だってよくわからないところは同じようなものだが、なにか、退屈である。

なぜか。

国語の意味はしっかり固まっているように感じられる。間違っではいけない。解釈の余地も小さくて窮屈である。

そこへ行くと、外国語はもともとチンプンカンプンの世界である。辞書があって、ことばの意味を教えるが、国語辞書にない自由さがある。定義というより慣用を中心にことばの意味を与える。慣用は不正確である。理解しにくく、誤解、誤用のリスクは、当然大きい。

ことばは、さまざまに用いられるから、辞書の意味で縛ることはできにくいのであるが、国語を使っているときは、規範性が先に立ち、誤用は軽んじられる。

それに対して外国語では、各人各様の意味をとりやすい。その中には誤用も多いが、そこがよいのである。外国語には、国語にないものがある。

国語を読んでも、ことばのおもしろさということは少ない。外国語は、わかりにくいから、各人各様の解釈をしなくてはならない。誤解を避けることができないが、そこがおもしろいのである。

正解は退屈だが、誤解すれすれの正解は、乱調の美学、“おもしろさ”をもっている。

1. 外国語は、国語とは異なり、慣用を中心にことばの意味を与えるので、誤解や誤用のリスクがあるが、国語にはない自由さがある。
2. 近代日本では、外国語の学習は、外国の知識や知見を学ぶということ以上に、りっぱな人間になるための素養として、国語の学習よりも重視された。
3. エリートが集まる旧制の高等学校では、ほとんどの授業は外国語で行われたが、外国語の学習は少数の者にのみ許された特権であったため、それをおかしいと思う学生はいなかった。
4. 国語を読んでもことばのおもしろさがない唯一の要因は、用法が完全に辞書的意味で縛られてしまっていることにある。
5. 近代日本の発展を支えた知識人たちは、退屈な正解に飽き足らず、誤解すれすれの正解を求めて、外国語の学習に取り組んでいた。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

私は、私が存在していただけることを望んでいる。そして存在のための手段があるとよいと思っている。その私の望みは、手段＝能力を自らがどれだけ有しているかに関わらない。私が存在していること、そのように私が私であることは、私が有する様々な属性とは別のことであり、存在するための手段＝能力をその私がどれだけ持っているかは別のことである。私は、私がしかじかのことができ、しかじかの貢献を行うことができるから生きていただけるのではなく、ただ生きていたいと思っている。

《中 略》

存在のための手段によって私という存在が規定されてはたまらない。それは私の存在とその自由自体を脅かすことになる。そのような社会に自分はいるのは楽しくないから、辛いから、いたいと思わない。代わりに私の存在と存在の自由が現実に認められる機構の方を支持する。必ずしも他人に対する同情や自分の将来の現実の可能性を言わなくともよい。

これは存在の承認のあり方、承認の請求のあり方のすべてではない。本書で考えているのは、まったく単純な、生存の手段の問題ではある。分配可能なものについてだけ述べている。他方に、分配できないもの、すべきでないものもある。他の人ではなく私のことを認めてほしいということ、その人にとって他の人たちと同じでない特別の存在として認められたいということ、その好悪のあり方がその人に委ねられているからこそそれが求められることもある。分配することの不可能なものが、ときには不可能であるゆえに求められることがたしかにある。だがもう一方には、具体的な他者の存在は意識されずただ私は生きていたい、それが可能ならよい、認めてほしいということもある。そしてこちらの方はたんにものが足りるか足りないかということであって、個別の私のあり方に関わらないことだと考えるなら、それは違うだろう。それは存在の基本的なあり方に関わっている。むしろ、それがあって、その上で好いたり好かれたりという恣意的な関係があったときに、その関係は、依然として残酷ではあるだろうが、それなりの軽さをもった戯れとしてあることができるようになるだろう。

1. 私は、存在のための手段＝能力を持ち、様々な属性を有し、貢献を行うことができるから存在しており、そのことに自ら気づくことで生きていたいと思うようになる。
2. 私の存在と存在の自由が現実に認められる機構においては、存在のための手段によって私という存在が規定される。
3. 他の人ではなく私のことを認めてほしいと望むことは、分配可能なものであって、存在の承認のあり方、承認の請求のあり方のすべてである。
4. 具体的な他者の存在は意識されずただ私は生きていたい、それが可能ならよい、認めてほしいということは存在の基本的なあり方に関わっている。
5. 分配することの不可能なものは、残酷かつ軽さをもった戯れという側面をもつため、単純に生存の手段の問題であると言いかえることができる。

【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

虫の音に対する日本人の感性については、ラフカディオ・ハーンも「虫の演奏家」という随筆で触れています。日本人は虫の音を音楽として聴き、そこにもものあわれさえ見いだしている。この、欧米においては稀にみる詩人だけに限られた感性を、日本ではごく普通の庶民でさえ、ごく当たり前前に持っている。秋になって遠くから鈴虫の音が聞こえてくると、心を洗われ、秋の憂^{ゆう}愁^{しゅう}に心を静ませる。このようなことが古代から日常的に行なわれている。

こう語った後、ハーンは証拠としていくつもの和歌を引用しています。例えば万葉集の詠み人知らずの歌で「庭草に村雨^{むらさめ}ふりてこほろぎの鳴く声聞けば秋づきにけり」。古今集から「あきの野に道もまどひぬまつ虫の声するかたに宿やからまし」などです。なお、虫の音を楽しむというのは、欧米にはもちろん中国や韓国にもないことだそうです。

3年ぐらい前、日本の中世文学を専攻するイギリス人が我が家に遊びに来ました。私は「日本の中世文学を勉強するうえで何が難しいですか」と訊ねました。彼はただちに「ものあわれだ」と答えました。

「ものあわれというのはイギリスにはないんですか」と私が訊いたら「勿論あります。あるけれど、日本人ほど鋭くない」と言う。従って「ものあわれ」に対応する英語は存在しない。それに近い英語も存在しないそうです。

人間というのは、何かに対して感性が研ぎ澄まされていると、必ずそれを言語化する生き物です。例えばエスキモーの間では、雪に関する言葉が百以上あると言います。東京でも、牡丹雪とか細雪とか粉雪とかドカ雪とか、色々あります。新潟へ行ったらもっとたくさんあるでしょう。それでもエスキモーほどではない。だから、雪に対する感性では、日本人はエスキモーに負けてしまう。

しかし、悠久の自然と儂い人生との対比の中に美を発見する感性、このような「ものあわれ」の感性は、日本人がとりわけ鋭い。おそらく世界中の人が持っている感性なのではと思いますが日本人がとりわけ鋭い。このように思うのです。

1. 虫の音に対する感性は、万葉集や古今集に収録されているような歌を詠んだ古代の日本人の方が、ラフカディオ・ハーンが生きた時代の日本人より鋭い。
2. 虫の音を楽しむ感性は、欧米や中国、韓国の人々は持っていないが、雪に対する感性が鋭いエスキモーは持っているといえる。
3. イギリス人が日本人ほど「ものあわれ」の感性が鋭くないのは、「ものあわれ」に対応する英語が存在しないため、「ものあわれ」自体をよく知らないからである。
4. 雪に対する感性は、エスキモーの方が日本人より鋭いが、東京の人と新潟の人との比較では、新潟の人の方が東京の人より鋭いであろうことがいえる。
5. 「ものあわれ」の感性が、世界中の人の中でとりわけ日本人が鋭いのは、日本は四季がはっきりしているからである。

【No. 5】 次の と の文の間の A～E を並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

主体と認識の深まりという点で言いますと、主体といっても体制そのものを創造する主体になることで始めて主体と言いうるし、客観的認識というのも分析、抽象という操作をへて始めて真に科学的な認識となる。

A：しかし、社会科学の体系が出来ても、体系そのものがわれわれの眼に代わってものを見てくれるわけでは決してない。

B：集団をみんなで作りあげる行為のなかで、共同の意志、共同のルールを作るために「論証」の必要が生まれる。

C：マルクスも『資本論』の序文でいっていますね。私は世論なるものを相手にしない。一人一人の考える読者を相手にすると。

D：そこで、共通に承認されるアキシオム・共通の言葉(定義)をもつ、一つのボディとしての社会科学が出来上るわけですね。

E：やはり体系を使ってわれわれの眼で見なければならぬ。体系をどう使うか、体系を使ってどう見るか。それは一人一人の賭けです。

一人一人が社会の創造、あるいは社会科学的認識の創造に参加するというのであれば、社会科学は形骸化します。

1. A→E→C→B→D
2. B→A→C→E→D
3. B→D→A→E→C
4. D→C→E→A→B
5. E→C→A→D→B

【No. 6】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

人間は亡くなくても、亡くなった人間の記憶とか、その人間の存在感というものは、その家族やその身近な人たちのあいだには色濃く残っています。

ぼくも弟を早く亡くしましたが、亡くなって一週間や十日ぐらいのあいだは、なにか電話がかかってきたときに、あ、弟からかかってきたんだな、と、ふっと錯覚^{さつかく}して、いつもの口調で話したり、あるいはドアがあいたときに、あ、彼が来たんだな、と一瞬、思ったりしたものです。ああ、そうなんだ、彼はもう死んで、いないのだ、と自分自身に言いかせて苦笑したりもするんですが、そういう錯覚がなくなるまでには、やっぱり半年ぐらいかかりました。

そして私たちは、亡くなったあとに、やれ告別式だ、初七日だ、四十九日だ、あるいは偲ぶ会^{しの}だ、と、いろんなことを重ねつつ、少しずつ少しずつ、その人の社会的な存在と記憶というものを、死のほうへ静かに送りだしていくことができるわけです。

。その人間の死が完成するまでにはやっぱり十カ月や一年ぐらいかかるのじゃないか。これがぼくのかたくなな考えです。

人間的な死ということを考えないで、科学的な生理的な死ということだけで死者というものを取り扱う、それはおそらくいろんな犯罪とどこか根のところで結びあってくるのではなかろうか。人間の命を軽く扱うという点において、そのことを私は考えざるをえません。

1. 人間は死によって終わりを迎えるのではなく他の人の記憶にとどまることで、新たな存在として復活するのだ
2. 人間はただ肉体として生きるだけでなく記憶のなかにも、そして人間関係のなかにも生きている
3. 残された人には、亡くなった人を忘れて前向きに生きていきたいという感情が急激に芽生えてくる
4. 残された人は、親しい人が亡くなるとその人に関する記憶が弱まるどころかどんどん強くなってしまう
5. 亡くなった人は、たとえ突然の死であっても死に向かって時間をかけて様々な準備をしているのである

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

1. 気難しい人を見ると、機嫌の良い赤ちゃんでさえも母親を探しておろおろとし始め、最終的には泣き出してしまうことがある。
2. 短文で、音が強調され、歌うような話し方であるという特徴のマザリーズ(motherese)では、Laela Sayigh氏によると、話す言葉だけでなく、言い方も変わるとされている。
3. 幼児は、長い文を話せるようになると、一つ一つの単語の意味が分かるようになるため、短い文しか話せない時期に比べて、知能が飛躍的に発達するという研究がある。
4. マザリーズはこどもの注意を引きやすいとされており、マザリーズの使い方を指導された親のこどもは、より多く喃語を発し、幼児としては語彙数が多いことが分かった。
5. 赤ちゃん言葉は、幼児にとって理解しやすい言葉や文法、構文法で成り立っているため、言語科学者たちはマザリーズと同様に赤ちゃん言葉を重要視している。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

A new study shows that alcohol-related deaths among women are rising at a faster rate than those among men, particularly for people 65 and older. The study analyzed data from the Centers for Disease Control and Prevention^{*1} on over 600,000 deaths linked to alcohol between 1999 and 2020, including those from alcohol poisoning, alcoholic liver^{*2} disease, alcoholic cardiomyopathy^{*3}, acute intoxication^{*4} and mental and behavioral disorders linked to alcohol consumption, among other causes.

Over the past 15 years, alcohol-related deaths have steadily increased in the United States and, historically, more men have died from alcohol-related causes. That's still the case, this study shows, but the gap is narrowing. From 2018 to 2020, alcohol-related deaths increased by 12.5 percent per year for men, but by 14.7 percent per year for women. The study highlighted rising rates among older women, in particular: From 2012 to 2020, alcohol-related deaths among women 65 and older increased by 6.7 percent per year, compared with an increase of 5.2 percent per year for men in the same age range.

The study does not pinpoint the reasons behind the rise in female alcohol-related deaths, said Dr. Ibraheem Karaye, an assistant professor of population health at Hofstra University and the lead author of the study. But he offered a few potential theories. First, rates of alcohol consumption seem to be growing among women, Dr. Karaye said. He also noted that alcohol hits women differently: Women's bodies tend to have less fluid to dilute alcohol compared with men's bodies, which results in higher blood-alcohol concentrations and may make women more vulnerable to health complications.

Women are also at higher risk for depression and anxiety, said George F. Koob, the director of the National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, and they might be turning to alcohol to cope, especially in the wake of the Covid-19 pandemic. Older women are also particularly prone to experiencing feelings of loneliness, he said, as they often outlive their partners.

The higher mortality rates among older women may also stem from the accumulated toll that alcohol takes throughout the course of one's life, Dr. Karaye said. Women over 65 may not be consuming more alcohol than their younger counterparts, but suffering the health effects of decades of chronic^{*5} drinking.

(注)^{*1} Centers for Disease Control and Prevention : (米国)疾病管理予防センター(CDC)

^{*2} liver : 肝臓 ^{*3} cardiomyopathy : 心筋症 ^{*4} acute intoxication : 急性中毒

^{*5} chronic : 慢性の

1. CDC が保有するデータを分析した最新の研究によると、近年、飲酒関連死する人の数は男女共に増加している。
2. 2018 年から 2020 年までの間に飲酒関連死した人の数は、女性の方が男性よりも 2 割以上多かった。
3. 65 歳以上の女性の死因全体に占める飲酒関連死の割合は、2012 年から 2020 年にかけて増加し、2020 年では 6.7 % と、他の年齢層の女性のそれに比べて高かった。
4. George F. Koob 氏は、女性の飲酒関連死が増加傾向にある背景に、Covid-19(新型コロナウイルス感染症)によりパートナーを亡くした高齢女性の飲酒量の増加があると結論付けた。
5. Ibraheem Karaye 氏は、65 歳以上の女性は、飲酒も含めて人生経験が豊富なため道理をわかまえている人が多く、若者と共に飲酒する際は飲酒量を控える傾向にあると指摘した。

【No. 9】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Between 1775 and 1820 many aspects of American life were transformed by the breakdown of traditional orthodoxies^{*1} and controls, and the application of democratic doctrine far outside the sphere of government and party politics. The implications of democratic ideals for military affairs were painfully evident in the War of 1812^{*2}, when US campaigns regularly came to grief due to the nature of the popular militia. Well suited to resist invasion, the state forces were hopelessly inadequate for any more complex struggle, with their insistence on electing officers regardless of abilities. They also carried out mass debate on controversial orders, and rejected those they disliked. This meant, for example, that forces returned home when they had fulfilled the strict terms of their engagement, no matter how inconvenient for the war effort, and they were extremely reluctant to venture outside American territory. Certainly republican government was in no danger from such forces, but nor could the United States hope to achieve the status of a significant military power.

In the law, meanwhile, the break with England permitted state legislatures^{*3} and courts to experiment with easier divorce procedures and expanded property rights for married women: impressive for the time, although tentative by the standards of the twentieth century. In 1790 Pennsylvania became the first jurisdiction anywhere to restrict the death penalty essentially to homicide, a trend that soon spread across the United States, and in the 1840s Michigan undertook the radical step of abolishing capital punishment altogether.

(注)^{*1} orthodoxy : 正統的慣行

^{*2} the War of 1812 : 1812年戦争(1812~1815年の米英戦争)

^{*3} legislature : 議会

1. 1775年から1820年にかけて、政府や政党は、民主主義の原理を徹底することによって米国の生活の多くの側面を伝統的で正統的なものに作り替えた。
2. 1812年戦争において、米国の軍隊は、能力の高い民兵から順に士官に選抜し、それによって複雑な戦いにもうまく対応することができた。
3. 軍隊は、米国領外での戦闘において、交戦の条件を厳格に遵守し、不利な状況でも戦果をあげて本国へ帰還することができた。
4. イングランドとの断絶により、州議会と裁判所において、離婚手続の簡素化と既婚女性の財産権拡大の試行が認められた。
5. 1790年、ペンシルベニア州は死刑を全面的に廃止した最初の司法管轄区となった一方、1840年代にミシガン州では刑の厳罰化が進むという反対の措置が講じられた。

【No. 10】 次の文の 、 に当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

ア

イ

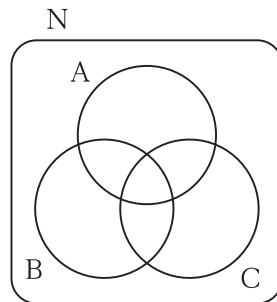
- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. are more beneficial for children than adults | the way to get compliments |
| 2. are more beneficial for the giver than the receiver | the way to get to know other people |
| 3. benefit both supervisors and subordinates | how many people think of us |
| 4. benefit both children and adults | when other people think of us |
| 5. benefit both the giver and the receiver | what other people think of us |

【No. 11】 ある学校の生徒に対して、昼食のメニューについて、それぞれ好きか好きでないかを調査したところ、次のことが分かった。このとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- オムライスが好きな人は、チャーハンが好きである。
- チャーハンが好きな人は、カレーライスが好きであり、かつ、タコライスも好きである。
- ハヤシライスが好きな人は、タコライスが好きでない。
- カレーライスが好きでない人は、ハヤシライスが好きである。

1. チャーハンが好きな人は、ハヤシライスが好きである。
2. ハヤシライスが好きな人は、オムライスが好きでない。
3. タコライスが好きな人は、チャーハンが好きである。
4. カレーライスが好きでない人は、タコライスが好きである。
5. オムライスが好きでない人は、カレーライスが好きでない。

【No. 12】 図のように、全体集合Nの中に、三つの部分集合A、B、Cがある。



また、A、B、Cは以下の条件を満たす。

- $A \cup C \rightarrow \bar{B}$
- $\bar{B} \cap C \rightarrow \bar{A}$

いま、Nは20人、Aに属する人は8人、Bに属する人は5人、Cに属する人は3人であるとすると、A、B、Cのいずれにも属さない人は何人か。

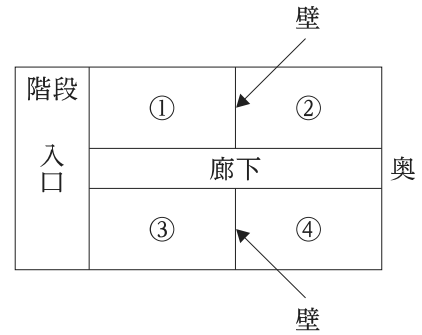
1. 4人
2. 5人
3. 6人
4. 7人
5. 8人

【No. 13】 5階建てのビルがあり、各階は図のように

①～④の四部屋となっている。このビルの部屋をA～Gの7人が借りている。ただし、一つの部屋を複数の人で借りることはないものとする。

ここで、A～Gの借りている部屋について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

なお、入口側の部屋とは①、③のことをいい、奥側の部屋とは②、④のことをいう。また、すぐ上の階、上の階とは、例えば1階からみた場合、それぞれ、2階、2～5階のことをいい、廊下を挟んで向かい合っている部屋とは、例えば①の部屋からみた場合、同じ階の③の部屋のことをいう。



- Aは入口側の一部屋のみを、Bは3階の奥側の二部屋のみを、Cは2階の全ての部屋のみを、それぞれ借りている。
- Dは奥側の一部屋のみを、Eは入口側の二部屋のみを、それぞれ借りている。
- Eの部屋は、二部屋ともFの部屋のすぐ上の階の部屋で、また、Dの部屋の上の階の部屋である。
- FはAの部屋と廊下を挟んで向かい合っている部屋のみを、GはDの部屋と壁を挟んで隣り合っている部屋のみを、それぞれ借りている。

1. Aは、3階の部屋を借りている。
2. Eは、5階の部屋を借りている。
3. Fは、Dよりも2階上の階の部屋を借りている。
4. Gは、1階の入口側の部屋を借りている。
5. 3階の部屋は、全て借りられている。

【No. 14】 A～Fの6人が、月曜日から土曜日までの6日間、みかん農園の収穫作業に参加した。

A～Fの参加状況について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 各曜日とも3人が作業に参加し、A～Fはそれぞれ3日ずつ作業に参加した。
- A、B、Cは作業の熟練者であり、D、E、Fは作業の初心者である。
- 各曜日とも少なくとも1人は熟練者が参加しており、月曜日の参加者は熟練者のみであった。
- Aは3日連続で作業に参加したが、B、Cは2日以上連続して参加することはなかった。
- Dが作業に参加した前日には、必ずEが作業に参加していた。

1. Bが参加した曜日は、月曜日、水曜日、金曜日である。
2. Cが参加した曜日は、月曜日、木曜日、土曜日である。
3. Dが参加した曜日は、火曜日、金曜日、土曜日である。
4. Eが参加した曜日は、火曜日、木曜日、金曜日である。
5. Fが参加した曜日は、水曜日、木曜日、土曜日である。

【No. 15】 ある小学校の運動会において、1～6年の児童が、学年単位で、大玉転がし、玉入れ、100 m 走、綱引き、組体操、リレーのうち、それぞれ異なるいずれか一つの種目に参加した。種目によっては、参加できる学年が限られており、各種目の参加可能な学年は以下の表のとおりである。

種目名	大玉転がし	玉入れ	100 m 走	綱引き	組体操	リレー
参加可能な学年	全学年	全学年	全学年	4 年生以上	5 年生以上	5 年生以上

次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、同時に二つ以上の種目は実施できないものとする。

- 2 年生が参加した種目は 100 m 走で、その直前の種目は綱引きだった。
- 5 年生が参加した種目の次は、3 年生が参加した種目だった。
- 最初の種目は組体操で、最後の種目はリレーだった。
- 大玉転がしの次の種目は、玉入れだった。

1. 1 番目の種目は、6 年生が参加した。
2. 2 番目の種目は、1 年生が参加した。
3. 3 番目の種目は、玉入れだった。
4. 4 番目の種目は、100 m 走だった。
5. 5 番目の種目は、4 年生が参加した。

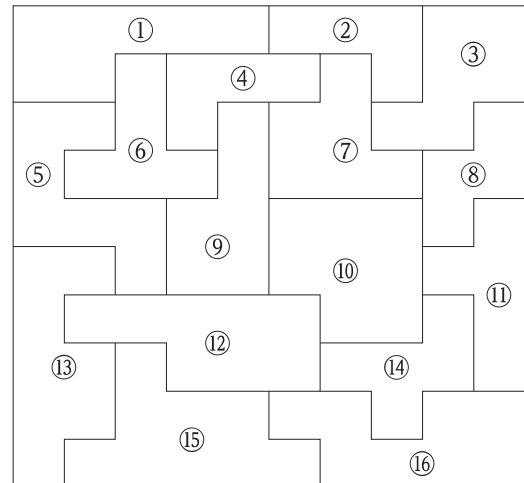
【No. 16】 光の三原色は、赤、緑、青から成り、赤と緑、緑と青、赤と青の2色が混ざるとそれぞれ、イエロー、シアン、マゼンタになり、赤、緑、青の3色が混ざると白になる。また、赤、緑、青の3色全てがないと黒になる。表は、これらの関係を示したものである。

表

光の色			できる色
赤	緑	青	
○	×	×	赤
×	○	×	緑
×	×	○	青
○	○	×	イエロー
×	○	○	シアン
○	×	○	マゼンタ
○	○	○	白
×	×	×	黒

いま、どの区画も光で着色されていない状態で、図のように①～⑯の16区画を作り、この中から最初に3区画を選び、1区画ごとに赤、緑、青のいずれか1色のみをそれぞれ着色した。さらに、この着色した3区画に一部分でも接する区画全てに、その接する区画の色と同じ色を着色したところ、一部の区画は色が混ざり合った結果、16区画の中に、黒も含めて8色が現れた。

図



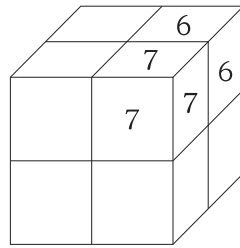
ここで、次の3区画の色が分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- ⑥は、最初に選んだ区画の一つで、赤に着色した。
- ⑫は、最初に選んだ区画の一つで、青に着色した。
- ⑨は、3色全てを着色した結果、白になった。

1. ④の区画の色は、赤になった。
2. ⑭の区画の色は、シアンになった。
3. イエローの色になった区画は、二つである。
4. 黒の色になった区画は、三つである。
5. 青の色になった区画は、五つである。

【No. 17】 小立方体が8個ある。これらには、1から8までの番号のうち、それぞれ異なる番号が一つずつ割り当てられ、1個の小立方体の六つの面には、割り当てられた番号と同一の数字が記されている。ここで、6、7の番号が割り当てられた小立方体を図のように配置し、8個の小立方体を全て使用して、大きな立方体を1個作った。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 大きな立方体の各面の数字の合計は全て18であった。
- 1、7の番号が割り当てられた小立方体は面で接していない。



1. 1、5の番号が割り当てられた小立方体は面で接している。
2. 2、6の番号が割り当てられた小立方体は面で接している。
3. 3、4の番号が割り当てられた小立方体は面で接している。
4. 3、8の番号が割り当てられた小立方体は面で接している。
5. 5、6の番号が割り当てられた小立方体は面で接している。

【No. 18】 一つの袋に、赤玉 5 個と白玉 10 個が入っている。A、B の二人がこの順に、それぞれ 1 回だけこの袋に入った玉を無作為に 1 個取り出すとき、B が赤玉を取り出す確率はいくらか。
ただし、A が玉を取り出した後、それを袋に戻すことなく B が玉を取り出すものとする。

1. $\frac{1}{2}$

2. $\frac{1}{3}$

3. $\frac{1}{4}$

4. $\frac{1}{5}$

5. $\frac{1}{6}$

【No. 19】 A、Bの二人がP地点からQ地点に向かって同時に出発した。Aは時速30 kmのタクシーに乗り、Bは時速5 kmで歩いて向かった。AがQに到着後、Aを降ろしたタクシーはすぐに折り返してBと合流し、歩いていたBを乗せてQに到着した。BがQに到着したのはAが到着してからちょうど1時間後であった。このとき、PQ間の距離はいくらか。

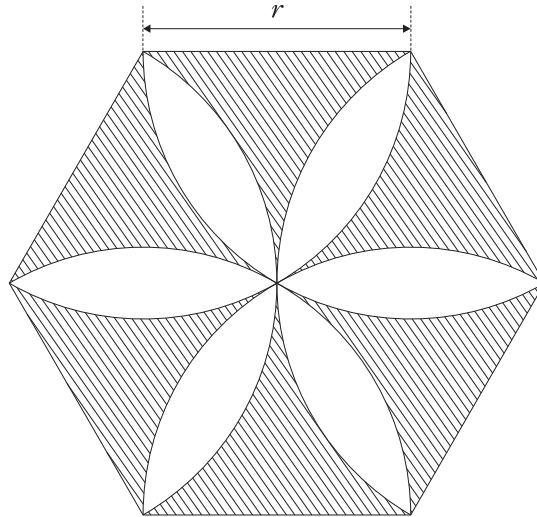
ただし、タクシーと徒歩の速さはそれぞれ一定であり、タクシーも徒歩もPQ間の同じ経路を移動し、タクシーの折り返しや乗降にかかる時間は考えないものとする。

1. 14 km
2. 21 km
3. 28 km
4. 35 km
5. 42 km

【No. 20】 4で割り切れる3桁の正の整数がある。各桁の数字の和は15であり、それら三つの数字を逆に並べてできる数は元の数より396小さい。このとき、元の数の百の位の数字はどれか。

1. 4
2. 5
3. 6
4. 7
5. 8

【No. 21】 図のような一辺 r の正六角形の内側に、各頂点を中心として各辺を半径とする円弧を描いたとき、図の斜線部分の面積として正しいのはどれか。



1. $\left(\frac{9}{2}\sqrt{2} - 2\pi\right)r^2$
2. $(-3\sqrt{3} + 2\pi)r^2$
3. $\left(\frac{9}{2}\sqrt{3} - 2\pi\right)r^2$
4. $(3\sqrt{3} - \pi)r^2$
5. $\left(-\frac{9}{2}\sqrt{3} + 4\pi\right)r^2$

【No. 22】 表は、ある国の 0～100 歳の人口を示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、表中の割合(%)は、男女計、男性、女性のそれぞれの総人口に占める、それぞれの年齢層の人口の割合を示し、例えば、男性の 65 歳以上の人口の欄の 8.8 は、男性の 0 歳以上の人口に占める、男性の 65 歳以上の人口の割合(%)、小数点第 2 位四捨五入)を示している。

	0 歳以上の 人口 (0～100 歳)	65 歳以上の 人口 (65～100 歳)	70 歳以上の 人口 (70～100 歳)	75 歳以上の 人口 (75～100 歳)
総人口(万人) (男女計)	1,401	148	97	59
割合(%)				
男女計	100.0	10.6	6.9	4.2
男性	100.0	8.8	5.5	3.2
女性	100.0	12.4	8.4	5.3
性比 (女性 100 人に対 する男性の数)	99	70	64	59

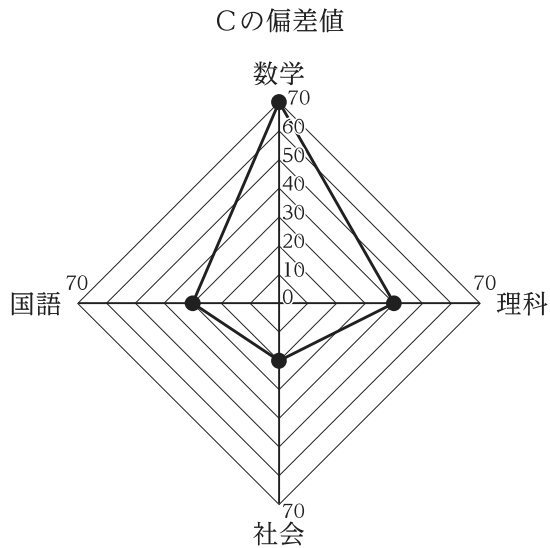
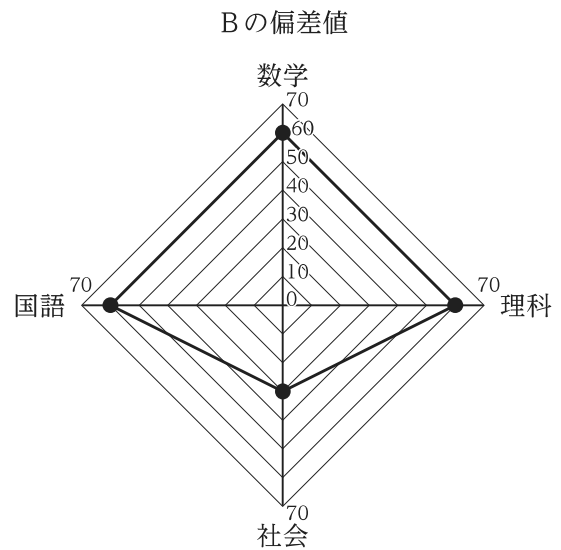
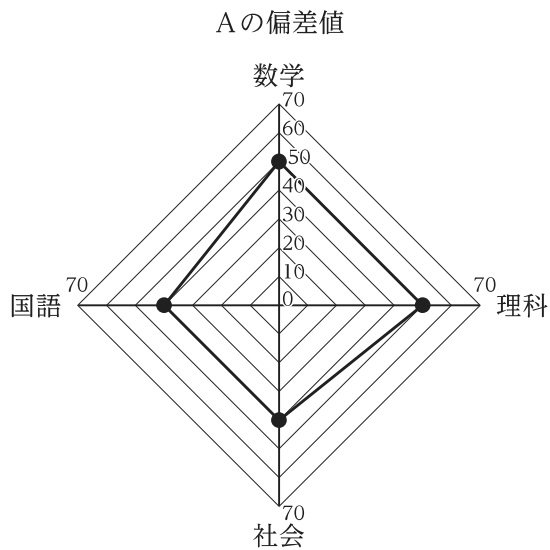
1. 70 歳以上の男性の人口は、15 万人未満である。
2. 65 歳以上の人口における男女の人口差は、40 万人未満である。
3. 75 歳以上の女性の人口は、65 歳以上 70 歳未満の女性の人口の 6 割未満である。
4. 65 歳未満の人口は、男性より女性の方が多い。
5. 65 歳以上 70 歳未満の男性の人口が、0 歳以上の男性の人口に占める割合は、5 % 以上である。

【No. 23】 図は、ある年の中学生を対象にした、各 100 点満点の数学、理科、社会、国語の 4 教科の全国模試の結果について、模試を受験した A、B、C の 3 人の偏差値を示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、偏差値は以下の式で示される。

$$\textcircled{\circ} \quad s = 10 \times \frac{x_k - \bar{x}}{s_x} + 50$$

(s : 偏差値、 x_k : データの値、 \bar{x} : 平均値、 s_x : 標準偏差)



1. 3人の中で、4教科の合計点数が最も高いのはBである。
2. 3人の中で、数学の点数が全国の平均点より低いのはAとBである。
3. Aの国語の点数は、全国の平均点の半分以下である。
4. Bは、理科の点数の方が社会の点数より高い。
5. 社会の点数は、AよりCの方が低い。

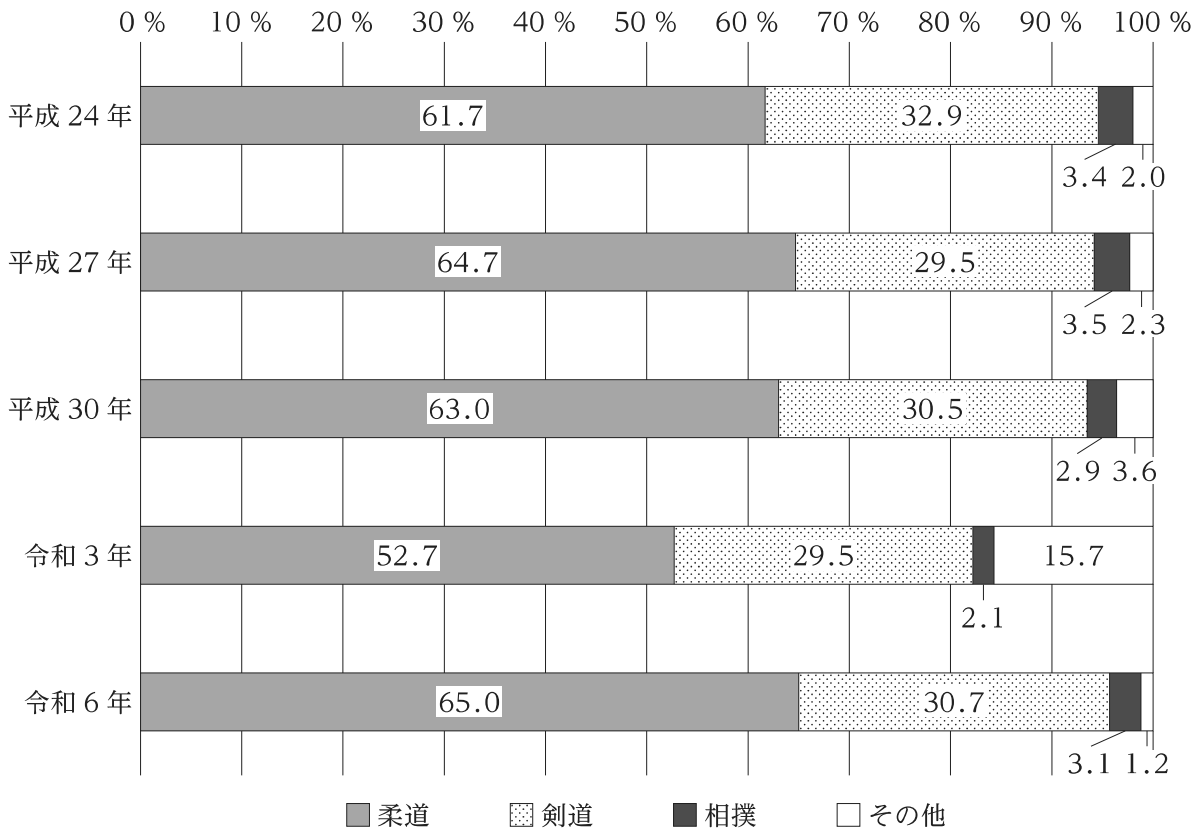
【No. 24】 表は、ある地域に所在する中学校に在籍する生徒数を、平成 24 年～令和 6 年の間、3 年ごとに調査した結果を示したものであり、図は、これらの生徒が体育で選択している武道の種目別構成割合を 3 年ごとに調査した結果を示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、全ての生徒は、武道の種目の中から 1 種目のみを選択しているものとする。

表 中学校に在籍する生徒数の推移(単位：人)

平成 24 年	48,280
平成 27 年	42,195
平成 30 年	36,083
令和 3 年	38,756
令和 6 年	31,415

図 生徒が体育で選択している武道の種目別構成割合の推移



1. 平成 27 年～令和 6 年の調査において、中学校に在籍する生徒数の前回調査年からの増減率は、いずれの調査年においても 15 % 未満である。
2. 柔道を選択している生徒数は、いずれの調査年においても 2 万人を超えている。
3. 剣道を選択している生徒数は、平成 27 年から令和 6 年にかけて、いずれの調査年においても前回調査年に比べて減少している。
4. 相撲を選択している生徒数についてみると、平成 30 年は令和 3 年より少ない。
5. その他の種目を選択している生徒数についてみると、最も多い調査年では、最も少ない調査年の 25 倍を超えている。

【No. 25】 近年の情報と通信などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. AIの規制に関する法律が、2024年に欧州連合(EU)で成立した。これにより、AIのリスクが4段階に分類され、リスクに応じて規制されることになる。ソーシャルスコアリング(社会的行動や個人の特徴に基づく信用格付け)の運用にAIを利用することなどは最も高いリスクに分類され、EU域内で禁止される。AIにはディープラーニングと呼ばれる機械学習の手法があり、ビッグデータを蓄積・分析して学習していくことが可能である。
2. 2024年、我が国でプロバイダー責任制限法が改正され、SNSなどの運営事業者は、ひぼう中傷の書き込みに対し、迅速な対応が求められることになった。これにより、申出窓口を整備し、投稿の削除申出があった場合には、一旦書き込みを削除し、その後削除の妥当性を審査することが義務付けられる。なお、SNSなどインターネットを利用する際に使用する機器に割り当てられているIPアドレスを27ビットで表す、IPv6という規格への移行が進められている。
3. 日本、米国、韓国及びオーストラリアの4か国によるクアッド(QUAD)の首脳会合が、2024年9月にオーストラリアで行われ、海洋安全保障協力の強化で一致し、首脳会合後の共同声明で、南極海を通る海底ケーブルの敷設を共同で行うことが発表された。南極海では、インド・オーストラリアプレートとアフリカプレートが互いに近づき衝突しており、海底が隆起した衝突帯と呼ばれる場所があることから、海底ケーブルの敷設が困難な海域とされている。
4. 我が国で電話番号が不足する懸念があることから、2024年10月、総務省は、これまで固定電話で使われてきた「060」から始まる番号を携帯電話の番号に加えるための検討に入った。同月時点で、携帯電話では「090」、「080」、「070」から始まる番号が使われている。携帯電話には充電が可能な電池が使われており、このような電池を一次電池という。一次電池には、携帯電話の電源に使用されるリチウム電池以外にも、自動車のバッテリーに使用される鉛蓄電池などがある。
5. 2024年、我が国で放送法が改正され、インターネットを通じた番組などの提供が日本放送協会(NHK)の必須業務になった。これにより、スマートフォンやパソコンなどを持っている場合、インターネットを通じてサービスを受けることが可能な環境にあるとみなされ、2030年から受信料支払いの対象となる予定である。放送の際には電磁波の一種である電波が使われ、電磁波は周波数の小さい順に、紫外線、可視光線、赤外線、電波、X線などに分類される。

【No. 26】 国際情勢などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. グローバル・サウスとは、主に北半球の南部と南半球に位置する新興国・途上国の総称として使われており、これらの国は、近年、国際社会において影響力を増している。2023年開催のG7広島サミットでは、グローバル・サウスとの関わりが主要テーマの一つとなった。なお、南北問題とは、北半球に多く位置する先進国と南半球に多く位置する途上国との経済格差やそれに伴う諸問題をいい、途上国がモノカルチャー経済から脱却できないことに起因することが多い。
2. 2024年1月、ブラジル、イラン、中国など5か国で構成するBRICSに、南アフリカ、アルゼンチンなど5か国が新規加盟した。BRICS加盟国は、経済・外交面で結び付きを強化し、先進国の対抗軸として国際社会での発言力拡大を目指している。同年10月のBRICS首脳会議では、ブラジルから、ウクライナ紛争に対して、戦場の拡大禁止、戦闘激化の禁止、国際和平会議の開催など、現状維持での即時停戦を求める和平案が提出され、中国以外の国に支持された。
3. OPECプラスは、サウジアラビアなどが加盟する石油輸出機構(OPEC)と米国などの非加盟産油国で構成され、2024年6月にカルテルを結び、原油価格維持のための減産に合意した。OPECは、第1次中東戦争の際に原油市場への発言権を確保したが、掘削技術の進歩により米国などでシェールオイルの採掘が始まり、OPECだけでは原油価格の決定権を維持できなくなった。米国には原油を含む凝灰岩が分布しており、この岩からシェールオイルを採取している。
4. 2024年6月、欧州連合(EU)加盟国による欧州議会選挙が行われ、親EUで反ロシアの立場をとる右派・極右勢力が伸長し、反EUでロシア寄りとされる中道左派が議席を減らした。これを受け、ハンガリーの首相がEU大統領(欧州理事会常任議長)に就任し、ウクライナの2030年までのEU加盟を進めることとなった。なお、1990年代、シェンゲン協定により、フランス、イタリア、スペインなどラテン系の国を原加盟国とする欧州共同体(EC)は、EUに改組された。
5. 2024年9月、国連で「未来サミット」が開催され、「未来のための協定」が採択された。この中に安全保障理事会改革が盛り込まれ、非常任理事国15か国のうち、アジアの割当てが3か国しかないのは、世界の地域別人口割合からみて著しく不合理であり、「歴史的不正を正す」として、非常任理事国の地域別割当数に関して、アジアを増加し、ヨーロッパとアフリカを削減することが明記された。なお、我が国は、2024年までに、非常任理事国に2回選出されている。

【No. 27】 我が国における近年の法改正などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 令和 5 (2023) 年に成立した改正マイナンバー法では、健康保険証を廃止して、マイナンバーカードと保険証を一体化することとされた。また、スマートフォンに搭載できるマイナンバーカードの機能を限定し、行政手続では原則、実物のカードを用いることとされた。マイナンバー制度は、住民の個人情報管理する住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)がプライバシー権の侵害に当たるとした最高裁の違憲判決を受け、その代替りの仕組みとして創設された。
2. 令和 6 (2024) 年に成立した改正生活困窮者自立支援法などでは、生活保護を受けている世帯のこどもの経済的自立を促すため、こどもが高校卒業後に就職しなかった場合に支給される一時金を廃止し、地方公共団体による就職支援を強化することとされた。なお、1970 年代、世界各国で社会保障の充実を求める声が強まり、英国のサッチャー首相や米国のレーガン大統領は社会保障費の拡大を図る政策を打ち出した。
3. 令和 6 (2024) 年に成立した改正雇用保険法などでは、パートやアルバイトなど短時間勤務で働く者が、失業給付などを受け取れるようにするため、雇用保険の加入対象を 1 週間の労働時間が「10 時間以上」の者まで拡大することとされた。なお、1920 年代、ニューヨーク株式市場で株価が暴落した後、米国は恐慌に陥り、多くの労働者が失業した。同国のフランクリン＝ローズヴェルト大統領はニューディールと呼ばれる政策を打ち出し、連邦政府は失業救済事業に乗り出した。
4. 令和 6 (2024) 年に成立したスマホソフトウェア競争促進法では、アプリ事業者どうしの適切な競争を促し、巨大 IT 企業が運営するアプリストアなどのプラットフォームの公正性を向上させるため、プラットフォームの開発費用の確保を目的として、アプリ事業者が巨大 IT 企業に支払う手数料が引き上げられた。市場の独占・寡占による弊害を除去するための独占禁止法は、バブル経済崩壊後の 1990 年代に制定され、その運用を担う組織として公正取引委員会が設けられた。
5. 令和 6 (2024) 年に成立した改正地方自治法では、感染症拡大の予防のために、平時より、各地方公共団体が国の指示を待たずに独自の対応をとることができるという特例が規定された。感染症とは、ウイルスが体に侵入して症状が出る病気のことをいい、ウイルスの例としては、エイズ(後天性免疫不全症候群)を引き起こす HIV や、マラリアを引き起こすマラリア原虫、結核を引き起こす結核菌などが挙げられる。

【No. 28】 我が国の文化や産業などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 令和6(2024)年2月、インバウンド需要の更なる拡大につなげるため、函館空港などにおいて、韓国からの訪日客を対象に「プレクリアランス」と呼ばれる新制度を試行的に実施した。プレクリアランスでは、入国後、上陸審査を待つ時間に専用機器で個人識別情報を取得することにより、入国手続にかかる時間を短縮する。歴史を遡ると、19世紀半ば、日米修好通商条約によって、我が国は鎖国政策を転換し、函館(当時は箱館)は浦賀とともに開港された。
2. 令和6(2024)年の我が国の農林水産物・食品の輸出額は、10年ぶりに前年を上回った。これは、中国が日本産水産物の輸入を停止した影響を受けて中国へのホタテ貝などの輸出額が減少したものの、欧米へのカレーのルーなどの調味料やウイスキーなどの輸出額が大幅に増加したことなどによるものである。なお、1990年代以降、我が国の貿易相手国のうち、中国は米国に次いで2番目に輸出入総額が高く、中国との間では、我が国の輸出超過が続いている。
3. 令和6(2024)年6月、日本文化の関連産業の更なる成長に向けた「新たなクールジャパン戦略」がまとめられた。アニメやゲームなどのコンテンツ産業の輸出額が鉄鋼産業や半導体産業のそれをいずれも上回る規模に成長しているため、同戦略においては、コンテンツ産業を基幹産業と位置付け、海外展開を図ることとしている。我が国では、日清戦争の頃に産業革命が進み、特に綿織物業において、原料の綿花を生産する技術が発展したことにより、綿業貿易は黒字となった。
4. 令和6(2024)年6月、我が国の政府は、漫画などの原画の収集・保存や展示を担う「メディア芸術ナショナルセンター」(仮称)の整備を推進する方針を示した。原画の保存に当たっては、著作権保護の観点から作品のデジタル化は行わないこととしている。我が国の漫画の歴史を遡ると、江戸時代後期に『東海道五十三次』などの浮世絵を描き活躍した葛飾北斎の作品の一つである『北斎漫画』が起源とされている。
5. 令和6(2024)年12月、日本酒や焼酎などの「伝統的酒造り」が新たにユネスコ無形文化遺産に登録された。糖をエタノールと二酸化炭素に分解する反応をアルコール発酵といい、酵母によるアルコール発酵は醸造に利用されているが、「伝統的酒造り」では、原料のでんぷんをこうじ菌が糖に変えながら、その糖を酵母がアルコールに変える「並行複発酵」という発酵技術を用いる。我が国では、江戸時代に酒造りが発展し、伏見、灘などの酒が銘酒となった。

【No. 29】 我が国の社会を取り巻く状況などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 令和 5 (2023) 年の 1 年間において、我が国で生まれた日本人のこどもの数は 80 万人を下回る一方、死亡した日本人の数は 180 万人を上回った。出生数から死亡数を引いた自然減は 100 万人を超え、過去最大の減少幅であった。我が国は、2010 年代後半から総人口が減少する人口減少社会を迎えている。他方、世界の人口は、20 世紀半ばに 25 億人であったが、20 世紀後半に 50 億人、2010 年代前半には 100 億人に達し、人口爆発と呼ばれる急速な増加がみられる。
2. 令和 6 (2024) 年 7 月、東京外国為替市場の円相場は、我が国と米国の金利差などを背景に円が売られ、一時 1 ドル=170 円台まで値下がりし、昭和 48(1973)年以来、51 年ぶりの円安水準を更新した。一方、ユーロに対しては、円が買われ 1 ユーロ=160 円台の円高水準となった。円安になると、我が国で生産した製品が外国で割高になるため輸出は伸び悩むが、海外からの輸入品が割安となるため輸入は増えて、我が国の貿易収支は赤字になる傾向をもつ。
3. 令和 6 (2024) 年 8 月、日向灘で発生したマグニチュード 7.0 を超える地震を受け、気象庁は、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっているとして、運用が始まって以来初めてとなる、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表し、地震への注意を呼びかけた。トラフとは、海底にある細長くて比較的幅の広い舟底状の凹地のことで、通常、海溝より浅いものをいう。海のプレートの沈込みによってできたものが多いとされる。
4. 令和 6 (2024) 年 8 月に開催された全国高等学校野球選手権大会において、暑さ対策として、日中の気温の高い時間帯に試合を行うことを避けるため、一つの試合を前半と後半に分け、それぞれ午前と夕方に行う 2 部制が、初めて導入された。国連の組織である IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、現在のペースで温室効果ガスの放出が続くと、21 世紀末の地球の平均気温は、最大で約 8℃ 上昇すると予測している。
5. 令和 7 (2025) 年 1 月、「ドクターイエロー」の愛称で親しまれていた東海道新幹線の検査専用車両が老朽化を理由に引退した。新幹線の検査専用車両は黄色で統一されており、東北新幹線の「ドクターイエロー」は、当面の間、運行を続けた後、令和 9 (2027) 年を目途に引退する予定である。東海道新幹線が開業した昭和 39(1964)年頃の我が国では、高度経済成長が続く中、田中角栄内閣が国民所得倍増計画を掲げ、経済成長を更に加速させる政策が採られていた。

【No. 30】 高度情報化社会に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. デジタルデバイドとは、情報技術を使いこなすための知識に関する教育を受けた者と受けていない者との間に生じる有利・不利の格差である。これとは別に、費用負担や設備設置の問題で情報技術が使えないことや身体が不自由なため機器が使えないことによる有利・不利の格差は、デジタルトランスフォーメーションという。
2. メディアリテラシーとは、テレビや新聞、インターネットなどの情報発信主体としてのメディアから伝えられる情報について、その信憑性を客観的に評価して主体的に読み解く能力のほか、メディアにアクセスして活用する能力やメディアを介して情報発信を主体的に行う能力などを総称したものである。
3. 情報セキュリティとは、情報の機密性、拡張性、真正性を確保することと定義されており、これらを情報セキュリティの3要素という。これらのうち、拡張性は情報を使いたいときにいつでも使えることを、真正性はコンピュータウイルスに感染しているか否かにかかわらず正常にコンピュータが作動することを指す。
4. Information of Technology の略号である IoT とは、年々小型化・高性能化するコンピュータが互いに連携して、人間の快適な生活をサポートする技術であるマルウェアの発展により集められた膨大なデータを、ユビキタスコンピューティングが総合的に分析・判断して家電製品などを最適に制御する考え方である。
5. 知的財産権は、主に著作権と産業財産権とに分けられる。著作権は、登録しなくても権利が自動的に発生する無方式主義を採用しているが、著作者人格権は、登録して初めて権利が認められる方式主義を採用している。また、産業財産権に分類される諸権利はいずれも、出願・登録から10年間が経過すると権利が消滅し、誰でも無料で自由に使用できるようになる。

<出典>

・No.1

一川誠、「ヒューマンエラーの心理学」、筑摩書房

・No.2

外山滋比古、「乱談のセレンディピティ」、扶桑社

・No.3

立岩真也、「自由の平等：簡単に別な姿の世界」、岩波書店

・No.4

藤原正彦、「国家の品格」、新潮社

・No.5

内田義彦、「社会認識の歩み」、岩波書店

・No.6

五木寛之、「大河の一滴」、幻冬舎

・No.8

Alcohol-Related Deaths Are Rising Among Women by Dani Blum © The New York Times Company

・No.9

© Philip Jenkins, 2017, A History of the United States 5th, Bloomsbury Academic, an imprint of Bloomsbury Publishing Plc.

U-2025 基礎能力

正答番号表

No	正答	No	正答
1	5	21	3
2	1	22	2
3	4	23	5
4	4	24	2
5	3	25	1
6	2	26	1
7	4	27	3
8	1	28	5
9	4	29	3
10	5	30	2
11	2		
12	1		
13	4		
14	4		
15	3		
16	5		
17	4		
18	2		
19	2		
20	3		